

校

医

会

第350号 平成19年9月1日  
発行所 京都市学校医会  
京都市中京区間之町通竹屋町下ル  
楠町601-1 こどもみらい館 2階  
TEL (075) 256-0351  
FAX (075) 241-3568  
発行人 長村吉朗

## 京都市学校医会創立100周年記念像「未来みつめて」除幕式

会長 長村吉朗

京都市学校医会では本年創立100周年を迎えるに当たり、3年前から100周年記念事業の準備を進めてきました。

9月22日に京都ホテルオークラにおきまして創立100周年記念式典・祝賀会を挙行いたしますが、それに加えて、本会の更なる飛躍を祈念し、また我々

の先人たちが連綿と築いてきた取組みや子ども達の健やかな成長を願う学校医の真摯な想いを後世に伝えるべく、100周年記念誌と記念モニュメントを作成することといたしました。その記念像「未来みつめて」の除幕式を、門川教育長他多くの方々と共に9月7日に執り行うことが出来ました。



完成した京都市学校医会創立100周年記念像「未来みつめて」



像をさわるもえぎ幼稚園の子どもたち

記念モニュメントの作成に当たっては、門川教育長から京都教育大学教授 谷口淳一先生をご紹介いただき、昨年5月30日に谷口先生にご依頼申し上げたところ、ご多忙にも関わらず、直ぐにご快諾いただき、制作していただけることとなりました。制作にあたっては当方よりは、大人の目線の高さだけでなく、すぐ側にある京都市立もえぎ幼稚園やこどもみらい館を訪れる多くの子供たちの目線の高さで別の発見があるもの、そしてさわったりよじ登っても危なくないものを、と言う依頼をいたしました。

先生は、その後頻りに現地に足をお運びいただくなど精力的に制作にあたっていただきました。また、体育健康教育室のご協力もいただき、本会の事務所のある「こどもみらい館」の北側に隣接する竹間公園にふさわしい、魅力ある記念像が完成しました。学校医のみならず、「未来みつめて」の像をごらんになられた方々が心の安らぎを感じ、未来の担い手



像の制作をしていただいた谷口淳一先生へ感謝状を贈呈

となる子どもの健やかな成長を祈念されるものと期待しております。

また、この「未来みつめて」の台座にある作品名の揮毫は、榎本頼兼京都市長によるものであり、そして案内の文面を門川大作教育長にご揮毫いただくなど、子どもの健全育成に対する熱い想いを、一層この作品「未来みつめて」に込めることができたと考えております。この「未来みつめて」が竹間公園の芸術作品として広く市民の皆様にも末永く親しまれ、京都市学校医会の想いが未来永劫に発信できるものと確信しております。会員の皆様もお近くを通られた際には、一度足を止めてごらんいただきますようお願い申し上げます。



京都市学校医会の活動100周年を記念して制作されたモニュメント（京都市中京区・竹間公園）

京都市内の小学校などの学校医でつくる京都市学校医会が七日、京都市中京区のもみらい館で、百周年を迎えたいを記念するモニュメントの除幕式を行った。

一八九九（明治三十二年）の下京区学校医会以降、各区で学校医会が結成され、市学校医会としての活動が本格化してから百周年を迎えた。今後の発展を願い、事務局のある同館前の竹間公園に記念モニュメントを設置することにした。

除幕式では、長村吉朗会長が「公園の芸術作品として市民の皆さんに親しまれることを願う」とあいさつ。京都市教委の門川大作教育長とともに除幕した。

彫刻家の谷口淳一・京都教育大学教授によるモニュメントは象をモチーフにした台座に遠くを見つめる母子像が置かれている。「未来みつめて」と名付けられ、親子の情愛を表現したという。

（有賀美砂）

## 100周年記念モニュメント

京都市学校医会 中京で除幕式

9/8付 京都新聞朝刊より転載

## 京都市養護教育研究会との懇談会

会長 長村吉朗

7月21日に京都市養護教育研究会との懇談会が開催されました。当日の出席者は、養護教育研究会側は池田伸子会長他5名と教育委員会より服部指導主事、学校医会側は私の他奥村、平位両副会長と林専務理事、眼科学校医会より佐藤雅子幹事と耳鼻科医会星谷理事を含め合計12名でした。学校医にとって養護教諭は最もトラブルの発生しやすい関係です。例年教育委員会や校園長部会との懇談会では学校医会側よりの問題提起や要求が多いのですが、この懇談会は養護教諭側より多くの問題点が指摘され、学校医会側としては回答に苦慮することの多い会です。しかし、本年は以前に比べ指摘される点が少なくこれまでの懇談会の成果が出てきたのではないかと密かに喜んでいた次第です。

協議事項の内容ですが、まず一番は例年のことですが内科健診についての問題点でした。健康診断時における服装の問題で、特に中学生以上の女子に上半身裸になることに対する抵抗感が見られ、その必要性に対する質問と問題提起がなされました。ブラジャーを含め衣服を着けての検診が、十分な検診を行うにあたっての妨げとなることは、以前より繰り返し説明し、少し前になりますが校医ニュースでも記載したところでもあり、当日参加されている養護教諭の間においてそのことの理解は十分されているのですが、いまだ全養護教諭には伝わっていないのかも知れません。又、学校医側にも養護教諭や学校側に対し十分な信頼が得られていない等の問題がある可能性もあります。昨年も述べましたが、学校医と養護教諭とのコミュニケーションの不十分がその根底にあるかと考えます。内科健診前に実施方法やその流れや問題点などを十分に話し合っておくことが重要であり、今後もそのことを強調していきたいと考えております。その他には、学校保健委員会に学校医が出席してもらえないとの意見もありました。昨年度は内科学校医278名のうち203名（73%）、眼科学校医79名中47名（60%）、耳鼻科学校医72名中44名（61%）が学校保健委員会へ出席しています。指

定学校医制度の開始に伴い、その研修単位にカウントされる学校保健委員会への出席は確実に増えていると感じておりますが、今後その開始時間などこれまで以上に学校医が参加しやすい委員会の設定を教育委員会へ働きかけていきます。又、学校医に緊急連絡が必要となった際の連絡方法としての携帯電話の使用が問いかげられました。開業医に対し24時間の連絡が取れる体制が健康保険でも求められてきており、それに対し携帯電話の番号を受診者に教えていられる先生も多くなってきております。実は私も教えておりませんでした。今後学校側に携帯電話番号を伝えておくことは必要ではないかと気づかされました。養護教諭と話し合っただけの問題のない連絡方法を考えていただきたいと思います。又、LD・ADHD等配慮を要する児童生徒に対する対応につき意見がありました。以前に比べるとこれらの問題に対する知識を持つ学校医も増えております。担当校の状況を十分把握することで対応できるかと考えます。これも養護教諭と相互理解をもてる話し合いの時間を作ることが必要かと考えます。忙しい中ではありますが、そのための時間を何とかして作り出してより良い学校医活動につなげていきたいと考えております。その他、眼科・耳鼻科に対する質問もありましたが、省略させていただきます。

これら細かい点ではありますが、現在ある問題点に対し協議を行うことが出来非常に建設的な意見交換が行えたと考えております。わずかな食い違い、行き違いや誤解から養護教諭との関係を損ねることがないように、問題がありましたら個人間で議論するよりは学校医会にその判断をゆだねて頂いた方が解決がスムーズに行くのではないかと考えておりますので、そのような場合には学校医会までご連絡頂けると良いかと考えております。

---

---

## 第4回 常任理事会

---

---

7. ワンポイント相談 9/27
8. 常任理事会 10/6 (2:00pm~)

平成19年9月1日

於 事務局

出席者 長村会長、奥村・平位副会長、林専務理事、  
井上・藤田・福持・蘆原各常任理事、佐野  
眼科医会理事・星谷耳鼻咽喉科理事

### ・会長挨拶

### <報告事項>

1. 創立100周年事業委員会 8/20 (長村)  
全体で260名(祝賀会には240名)参加予定
2. 人づくり21世紀委員会 8/28 (林)  
10/13 (土) 京都アスニーで「HIV感染」につ  
いての講演会 学校医会からは感染予防教育に  
ついて提言する
3. その他
  - ・先月に報告した結核の疑い例は、陰性であっ  
た
  - ・学校関係者の医療についての勉強会への講師  
要請あり「婦人科」「整形外科」「精神科」領  
域で、専門医会を通じて講師依頼する
  - ・医療行為の多くを拒否する教会(左京区)の  
関係者に麻疹散発

### <協議事項>

1. 京都市学校医会百周年記念像「未来みつめて」  
除幕式について
2. 創立100周年記念式典について
3. その他

### <関連学会・各種協議>

1. 創立100周年事業委員会 9/7
2. 記念像「未来みつめて」除幕式 9/7
3. 腎臓相談 9/11
4. 精神衛生研 9/13
5. 京都市学校医会創立100周年記念式典 9/22
6. 京都市学校保健会 常務委員会 9/25

